

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶちぼこ、ぼこさん（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 20日		～ 2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2026年 1月 10日		～ 2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		～ 2026年 1月 30日

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童自ら考えて行動ができるようSSTやグループワークを実施している。	ペアレント・トレーニングを基本とし、できた内容ではなく、自ら行った行動を認めていく。	SSTやグループワークは、何度も繰り返して理解を深めていく。ただし、マンネリ化しないよう配慮する。
2	事業所内の様々な学年の児童及び幼児とも関りが持っている機会を積極的に設けている。	祝日の他、夏祭りやハロウィン、卒業・進級会等、小学生と合同に関りが持てる場を提供し、人間関係が学べる機会を積極的に設けている。	児童たちが主体となり、達成感が得られるよう、指導員がさりげないサポートや支援を行う。
3	相談室を設けて、関連施設ともスムーズに連携できる体制を整えている。	相談員は、児童と日々関りを持っており、児童の特性や課題を把握しやすい。また、他の指導員とも協議して、児童の利用計画を立てている。	個別支援計画と相談室の利用計画をリンクさせ、児童の課題やニーズに細やかに寄り添っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お迎えの時間に、職員（指導員）がドライバーとしてお迎えに行くため、事業所の職員の数が少なくなってしまう。	送迎専属のドライバーがいればよいが、現時点では余裕がなく難しい。	効率的な送迎計画を立てる。
2	地域との連携が弱い。	地域連携の首頭を取ることは、現段階では余裕がなく難しい。	地域の連携は、できれば参加したいと考えているため、今後はできる範囲で検討していきたい。